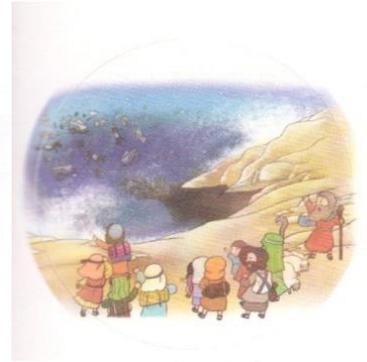


れいはいはさいこうのしゅくふく

まいにち
れいはい

わたしを あいしてくださる かみさまに
さいこうの えいこうを ささげましょう

まず しるべきことが
あります！



いのり _____ しかいしゃ

しとしんじょう _____ みんなで

さんび _____ さんびか 447 ばん (まことなるしゅ) わたし さいこう！ (2019 ねんこどもさんび)

せいしよ _____ しんめいき 6:4~9

申命記6:4~9 聞きなさい。イスラエル。主は私たちの神。主はただひとりである。心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。私 がきょう、あなたに命じるこれらのことばを、あなたの心に刻みなさい。これをあなたの子どもたちによく教え込みなさい。あなたが家にすわっているときも、道を歩くときも、寝るときも、起きるときも、これを唱えなさい。これをしるしとしてあなたの手に結びつけ、記章として額の上に置きなさい。これをあなたの家の門柱と門に書きしるしなさい。

みことば _____ まず しるべきことが あります！ _____ しかいしゃ

神様は 400年間、エジプトの奴隷としてつかまっていたイスラエルの民を救われました。

しかし、約束の地カナンに行くためには、けわしい荒野を通らなければなりませんでした。

そこで神様は、寒さや空腹、危険からイスラエルの民を守ってくださいました。

神様は救いの神様であることを忘れないように、契約の箱と幕屋と三つの祭りの祝福を

与えてくださいました。サタンの手につかまっていた私たちを救うために、神様である

イエス様がキリストとして来られました。

ただ福音を味わい (All In)、福音の目で世の中を見て (All Out)、福音で世の中を生かす

ようになります (All Change)。私の考えと心とすべてが「ただ福音」で刻印、根、体質と

なるように祈りましょう。私を救ってくださったイエス・キリストをおぼえて、味わって

伝える神の子どもになりましょう！

いのり _____ いっしょに おおきなこえで
いのりましょう

ちちなる かみさま、ありがとうございます！ わたしを すくってくださり かみのこどもとして
いきるように してくださって ありがとうございます。すくいの しゅくふくを わすれないで
あじわって つたえることが できますように。いきておられる イエス・キリストの おなまえによ
って おいのりします。アーメン

しゅのいのり _____ いっしょに しゅのいのりを いのって れいはいを おえましょう

フォーラム _____ きょうの みことばを きいて パパとママと はなしを しましょう



まいにち
✓ チェックしよう

げつよう

かよう

すいよう

もくよう

きんよう

どよう

みことば あんしょう

あま〜い
133

133とは、みことばを 1にち 3かい 3かいずつ よめば
いっしゅうかんに おぼえることが できるという いみです。

あまくて ふしぎな かみさまの みことばを まいにち よみましょう。
よく みえる ところに はっておいて いっしゅうかん
くりかえし よんで みことばを おぼえましょう



ききなさい。イスラエル。

しゅは わたしたちの かみ。

しゅは ただ ひとりである。

こころを つくし、

せいしんを つくし、

ちからを つくして、

あなたの かみ、

しゅを あいしなさい。

しんめいき6しょう4~5せつの みことば

あらのの みちを あるく あいだ かみさまは ひの はしら
くもの はしらで イスラエルの たみを みちびいて
くださいました。その かみさまは いまも わたしたちと
ともにいて いつも わたしたちを みちびかれ もえる ほのおの
ような めで みまもって くださっています。 したの えの
あいている ところに つぎのページから えを きりとって
はりましょう。

04

かようび

じゅんぴする もの： はさみ のり つぎのページ

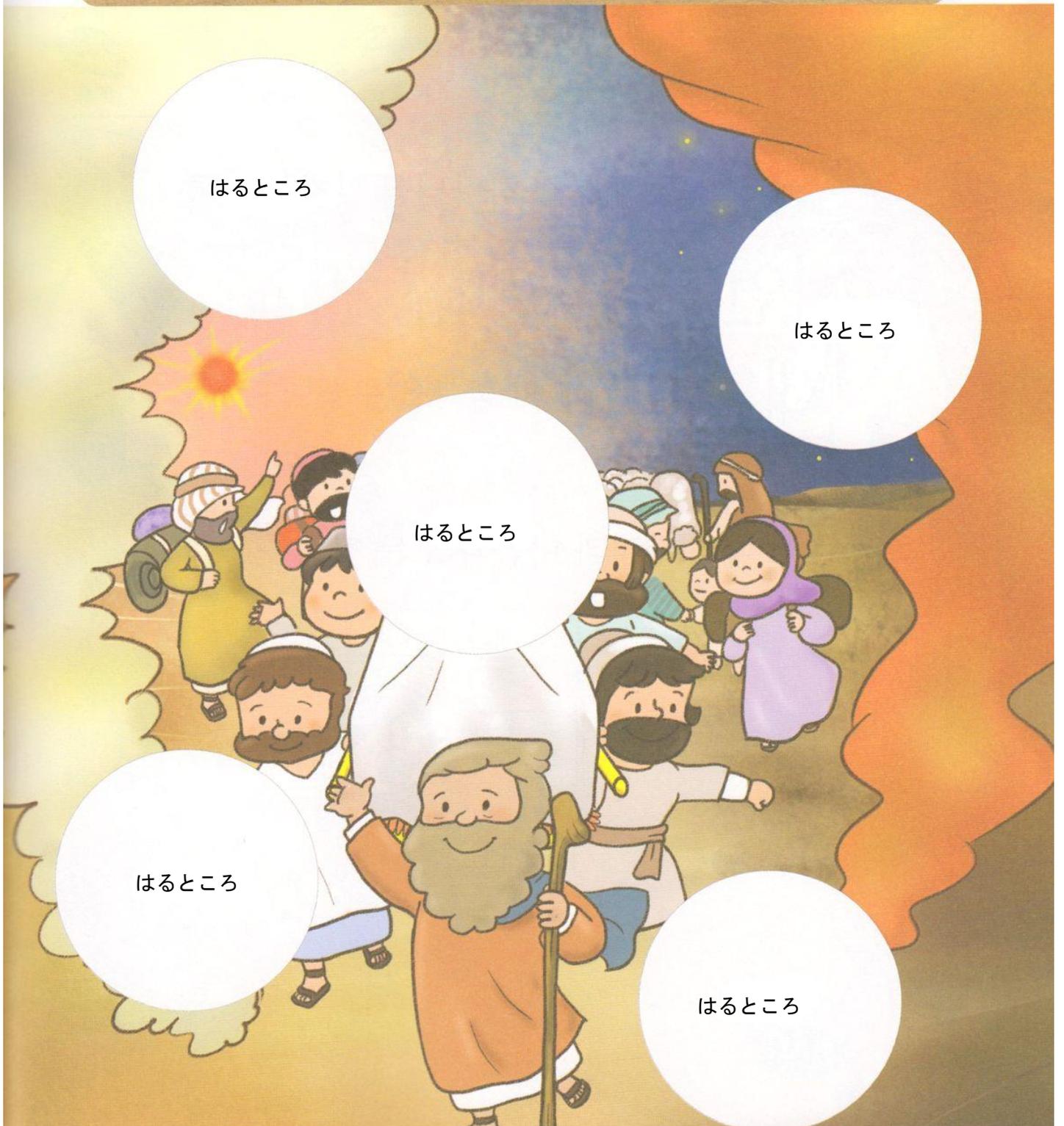
はるところ

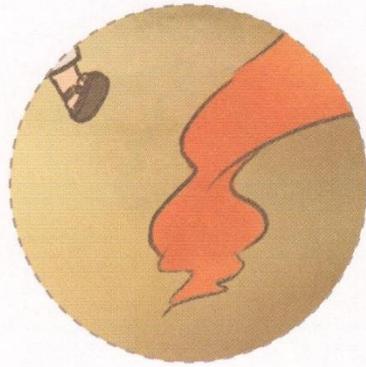
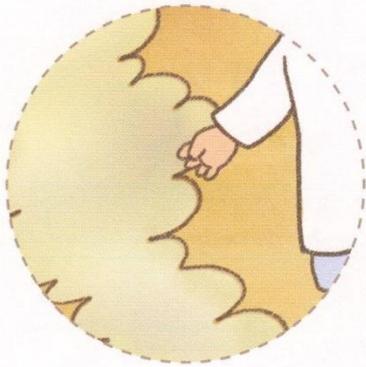
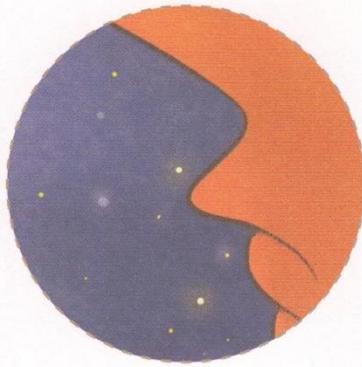
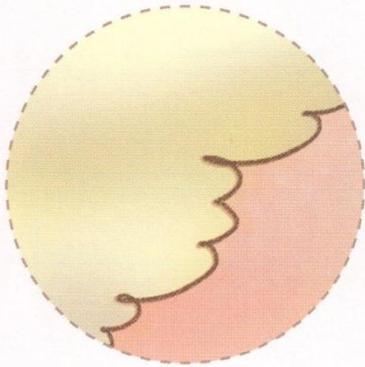
はるところ

はるところ

はるところ

はるところ





きょうも パパとママと いっしょに れいはいしましょう。
きょうの みことばで じゅうような たんごを もういちど
かんがえてみましょう。
したの ないようを よんで じゅうような たんごを
なぞって かきましょう。

05

すいようび

かみさまは **すくい** の かみさまで あることを

わすれないように、**けいやくのはこ** と

まくや と **みつつのまつり** の

しゅくふくを あたえてくださいました。

わたしの かんがえと ところと すべてが

「**ただ ふくいん**」で

こくいん、**ね**、**たいしつ** と なるように

いのりましょう。



さがして いろをぬろう

どこ?

かくれている えを みつけたり きれいに いろを
ぬったり しましょう

もんだいが おきても いちばん はじめに かみさまを おぼえて
いのって れいはいしましょう。 イスラエルの たみを みちびかれた
かみさまは いまも わたしの いのりに こたえてくださり わたしを
みちびいてくださいます。 そうぞうしゅの かみさま ぜんちぜんのうの
かみさまを おもいながら したの えに かくれている えを 7つ
みつけましょう。

06

もくようび



ぼうし



くつ



うさぎ



ほん



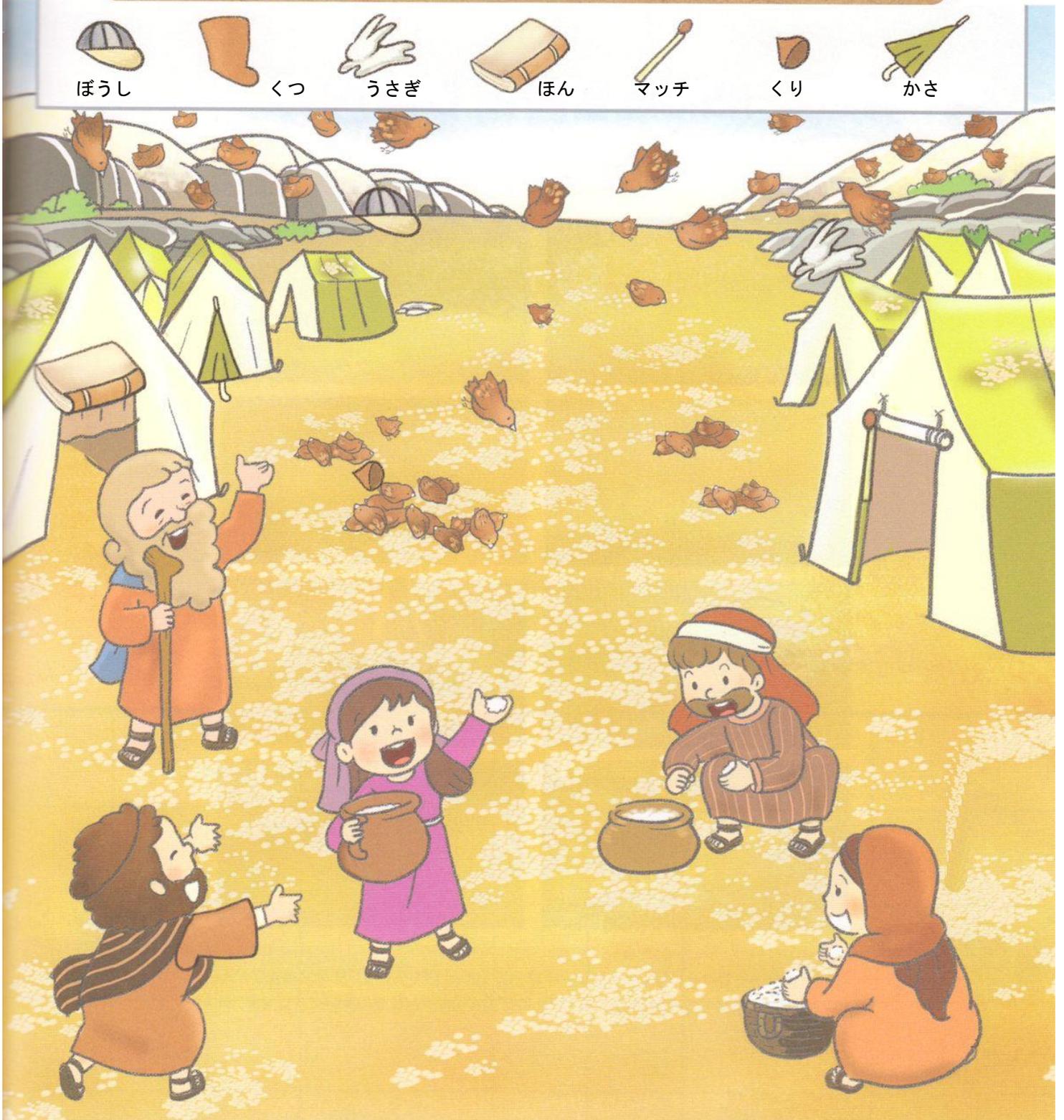
マッチ



くり



かさ





たのしい ワークをして いっしゅうかんの みことばを
ここに きざみましょう

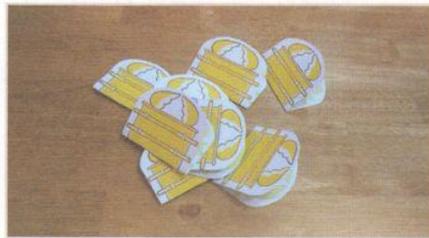


どようび

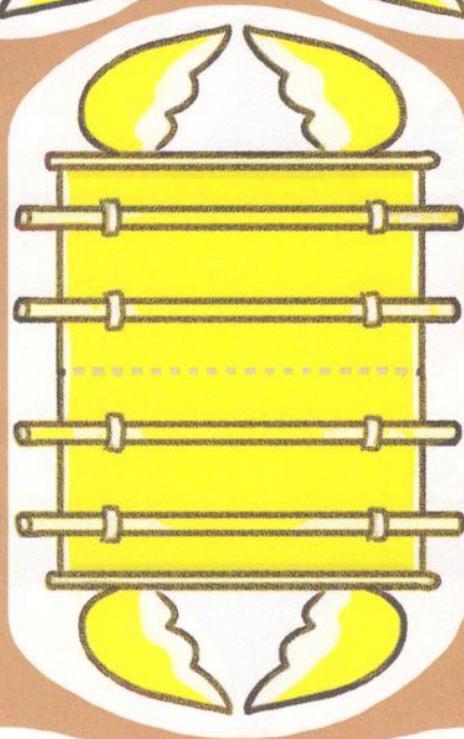
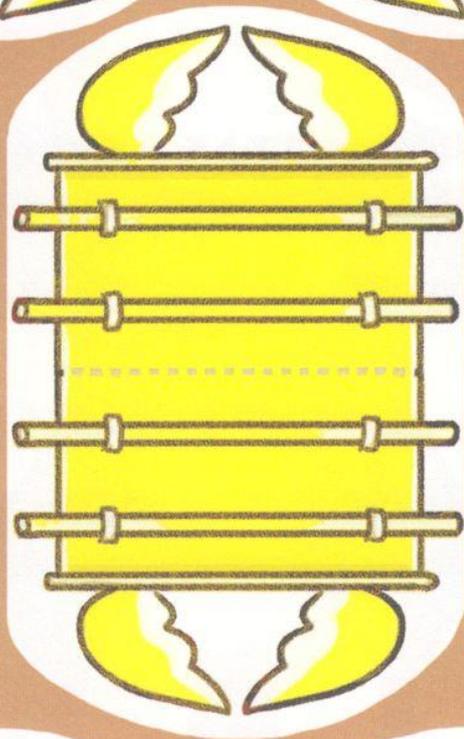
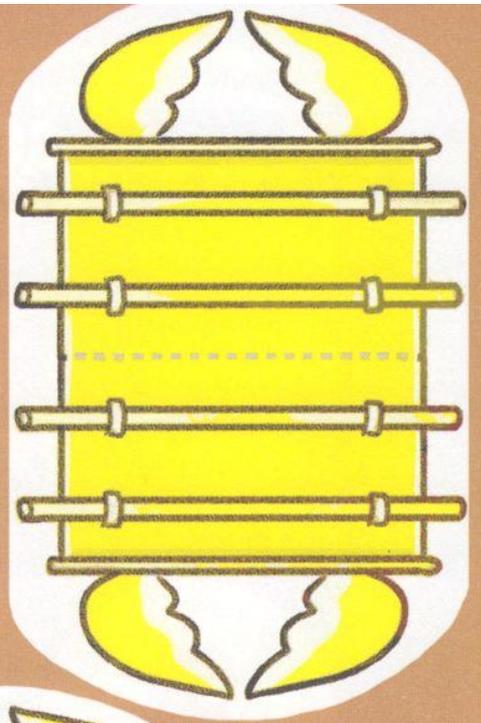
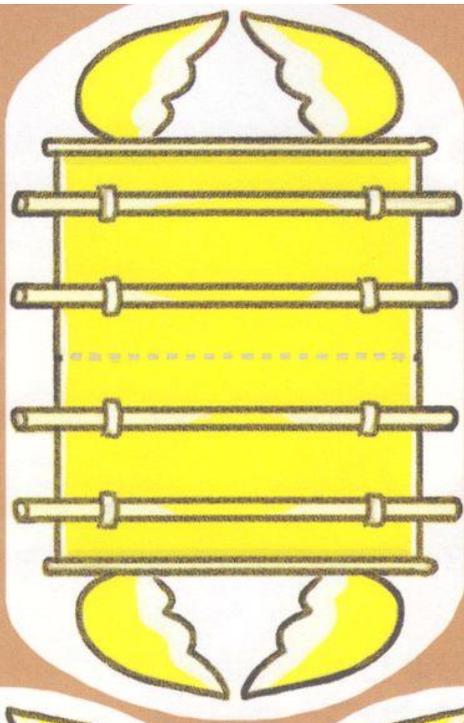
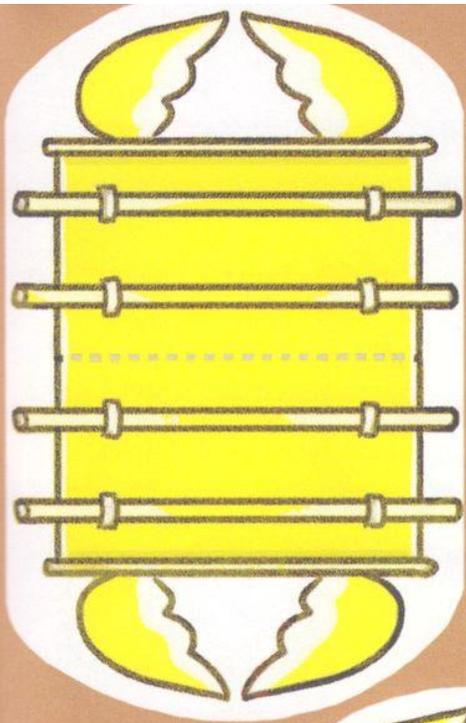
かみさまの けいやくが はいっていた けいやくのはこは いまは
どこに あるのでしょうか。 かみさまの みことばを わたしたちの
ところに とどめるとき ところが かみさまの けいやくのはこに
なります。かみさまの みことばが はいっている けいやくのはこを
ともだちと たのしく みつけましょう。

じゅんぴするもの | はさみ のり つぎのページ

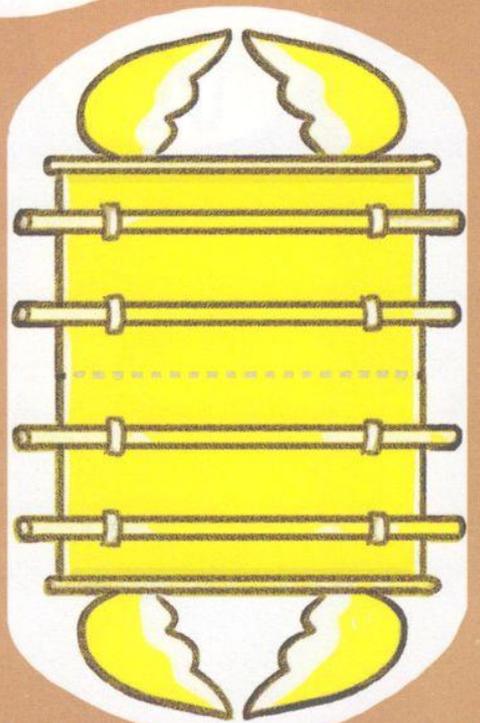
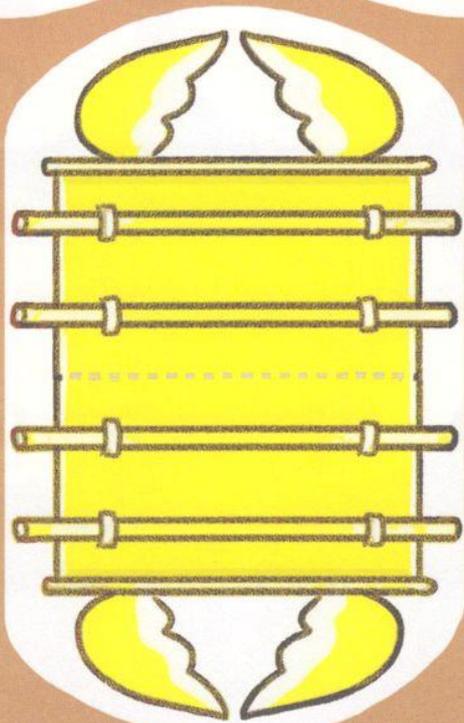
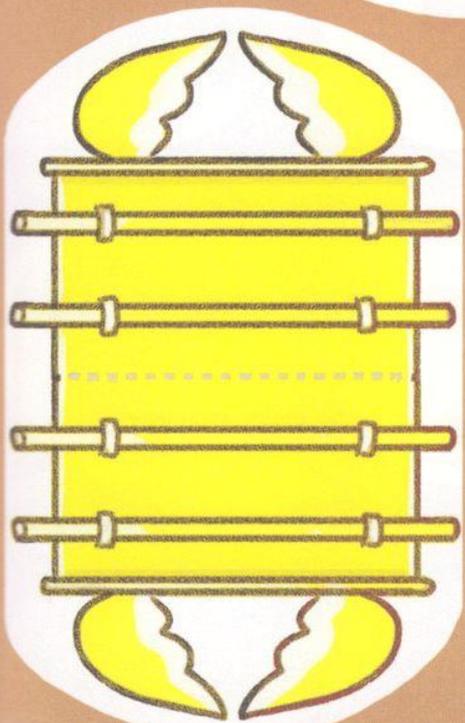
けいやくの みことばを みつけよう！



つぎの ページの えを すべて きりぬいて おもてと うらに はりあわせましょう。
うえの えの ように かみを おって パパとママ または せんせいに かみを あちこちに
かくしてもらいましょう。「スタート！」と さげんだら かくしてある かみを さがしましょう。
かみの なかに かくてある みことばを いっしょに よんで もくそうして フォーラムしましょう。



絵を切り抜いて
次のページの絵と
裏をはりあわせて
使ってください



心^{こころ}を^{つく}して
主^{しゅ}に^{たの}頼^りめ。
自^じ分^{ぶん}の^{きり}悟^りに^たよ^るな。
あ^なた^の行^いく^所ど^こに
お^いて^も、主^{しゅ}を^{たの}認^めよ。
そ^うす^れば、
主^{しゅ}は^あな^たの^{みち}道^を
ま^っす^ぐに^され^る。
(箴言3:5~6)

こ^の方^{かた}以^い外^{がい}に^は、
だ^れに^よつ^ても
救^{すく}い^はあ^りま^せん。
天^{てん}の^{した}下^で
こ^の御^み名^なの^ほか^に、
私^わた^しち^が救^{すく}わ^れる^べき
名^なは^人に^あた^えら^れて
い^ない^から^です。
(使徒4:12)

そ^こに^はな^お、
十^{じゅう}分^{ぶん}の^{いち}が^{のこ}残^りが、
そ^れも^また、
焼^やき^ほら^われ^る。
テ^レビ^ンの^き木^や樫^の木^が
切^きり^たお^され^ると^きの^よう^に。
し^かし、そ^の中^{なか}に
切^きり^たお^され^る株^{かぶ}が^ある。
聖^{せい}なる^すえ^こそ、
そ^の切^きり^たお^され^る株^{かぶ}。
(イザヤ6:13)

し^かし、聖^{せい}霊^{れい}が^あな^たが^たの
上^うえ^に臨^{りん}ま^れる^とき、
あ^なた^がた^は力^{ちから}を^うけ^ます。
そ^して、エル^{エル}サ^{レム}、
ユ^ユダ^ヤと^サマ^{リヤ}の^{ぜん}土^ど、
お^よび^ち地^の果^はて^にま^で、
わ^たし^の証^{しょう}人^{にん}と^なり^ます。
(使徒1:8)

ま^た、幼^おい^ころ^から
聖^{せい}書^{しょ}に^{しん}で^き来^きた^こと^を
知^しっ^てい^るか^らで^す。
聖^{せい}書^{しょ}は^あな^たに^ちえ^を
与^あて^てキ^リス^ト・イ^エス^に
対^{たい}す^る信^{しん}仰^{やう}に^よる
救^{すく}い^をう^けさ^せる^こと^が
で^きる^ので^す。
(Ⅱテモテ3:15)

御^み子^こを^もつ^もつ^者は
い^のち^を持^もつ^てお^り、
神^{かみ}の^み子^こを^もつ^たい^者は
い^のち^を持^もつ^てい^ませ^ん。
(Ⅰヨハネ5:12)

私^わた^しが^きょう、あ^なた^に命^{めい}じ^る
こ^れら^のこ^とば^を、あ^なた^の心^{こころ}に
刻^きみ^なさい。こ^れを^あな^たの
子^こども^たち^によ^く教^{おし}え^込み^なさい。
あ^なた^が家^{いへ}に^すわ^つて^いる^とき^も、
道^{みち}を^あら^わく^とき^も、寝^ねる^とき^も、
起^おき^ると^きも、こ^れを^なら^わな^{さい}。
こ^れを^しる^しと^{して}あ^なた^の手^てに
結^{むす}び^つけ、記^き章^{しょう}と^{して}額^{ひたい}の^うえ^に
置^おき^なさい。こ^れを^あな^たの^いへ^の
門^{かど}柱^{ばしら}と^門に^きき^きし^るし^なさい。
(申命記6:6~9)

私^わた^しは^ふく^{いん}を^はじ^め
思^{おも}い^ませ^ん。
福^{ふく}音^{いん}は、ユ^ユダ^ヤ人^{じん}を^はじ^め
ギ^ギリ^リシ^ヤ人^{じん}に^も、
信^{しん}じ^るす^べて^の人^{ひと}に
と^つて、救^{すく}い^を得^えさ^せる
神^{かみ}の^ちから^の
力^{ちから}で^す。
(ローマ1:16)